

自然教育園見ごろ情報

2026年10月8日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://www.ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

ホトトギスの花が
咲きました



ヤマハッカ

ハッカの名前がついていますが、香りはほとんどありません。花は紫色で小さく、上下の二片に分かれた唇形です。



花

武蔵野植物園や
路傍植物園で
見られます



アサギマダラ

はねが浅葱（あさぎ）色をしています。季節によって日本列島を南へ北へと旅するチョウとして有名です。今は南下中です。フジバカマやタイアザミの花に吸蜜に訪れます。



チャノキ

ツバキの仲間です。日本には奈良時代に中国から入ってきたといわれています。その葉は、加工法の違いにより、日本茶、紅茶、ウーロン茶などになり、世界各地で愛されています。

武蔵野植物園や
路傍植物園で
見られます



シロヨメナ

秋の野菊の1種です。日陰の林縁や林の中に生えます。



キチジョウソウ

吉祥草（キチジョウソウ）の名前は、「めったに花が咲かず、咲けば植えてある家に吉事がある」という言い伝えによりますが、園では毎年花を咲かせています。



「ひっつきむし」を探してみよう

秋に野原や草地を歩くと、洋服にたくさんの草の実がくっつきます。これらの草の実は、「ひっつきむし」と呼ばれ、ヒトの衣服や動物の毛にひっついて、タネを遠くまで運んでもらいます。

草全体



実



ヌスビトハギ

実は、メガネのようにも見えますが、泥棒（盗人）の足跡に似ていることから、この名前がついたといわれています。果実の表面は、細かい毛がびっしり生えていて、ざらっとしています。

キンミズヒキ

パラシュートのような実の形をしています。果実には細かいかぎ状のとげがたくさんあり、人間の服や動物に引っ掛かります。



ホトトギス

花びらの内側に赤紫色の斑点がたくさんあり、それが鳥のホトトギスの模様に見えることからこの名前がつけました。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園